

文書番号：

利益相反自己申告書（医学研究用）

愛知医科大学長 殿

提出日 2020年4月8日

所 属・職名 学際的痛みセンター・教授

氏 名 牛田 享宏



利益相反に関して、以下の内容で申告いたします。

研究課題名 慢性疼痛患者に対する簡便かつ多面的な疼痛感作評価法の開発

代表者氏名 池内 昌彦 所属・職名 高知大学 教授

実施期間 令和2年4月1日～令和2年3月31日 2020年度分（予測）

共同研究者氏名（所属・職名）		

1 研究者個人

- (1) 研究内容に関係のある企業等から、兼業、技術相談・指導、講演等を行うことにより、過去1年間に一つの企業等から100万円相当以上の報酬、またはそれに相当する経済的利益（5%以上の株式を含む）を受けたことがある場合は、該当する研究者名、企業等名、活動内容、受入額を記入してください。

牛田享宏、第一三共株式会社、講演料・コンサルタント料等、200万円

- (2) 研究内容に関係のある企業等から、生計を共にする配偶者及び一親等の親族が、一つの企業等から過去1年間に100万円相当以上の経済的利益（5%以上の株式を含む）を受けたことがある場合は、該当する研究者名、続柄、企業等名、受入額を記入してください。

該当無

2 研究組織（講座等）

- (1) 研究内容に関係のある企業等から、講座等の研究組織が、一つの企業等から過去1年間に200万円相当以上の経済的利益（奨学寄付金、受託研究費、共同研究費等）を受け入れたことがある場合は、企業等名、受入の種類、受入額を記入してください。

(学際的痛みセンター) 日本臓器製薬株式会社 共同研究費 ¥2,000,000 (見込)

- (2) 研究内容に関係のある企業等から、講座等の研究組織が無償で役務の提供を受けたり、又は200万円相当以上の不動産、機器、物品等の提供や貸付を受けたことがある場合は、企業等名、受入の種類を記入してください。

該当無

文書番号：

利益相反自己申告書 (医学研究用)

愛知医科大学長 殿

提出日 2020年4月8日

所属・職名 学際的痛みセンター・教授

氏名 西原 真理



利益相反に関して、以下の内容で申告いたします。

研究課題名 慢性疼痛患者に対する簡便かつ多面的な疼痛感作評価法の開発

代表者氏名 池内 昌彦 所属・職名 高知大学 教授

実施期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日 2020年度分 (予測)

共同研究者氏名 (所属・職名)		

1 研究者個人

(1) 研究内容に関係のある企業等から、兼業、技術相談・指導、講演等を行うことにより、過去1年間に一つの企業等から100万円相当以上の報酬、またはそれに相当する経済的利益(5%以上の株式を含む)を受けたことがある場合は、該当する研究者名、企業等名、活動内容、受入額を記入してください。

西原真理、講演料等、日本イーライリリー株式会社、100万円
講演料等、塩野義製薬株式会社、100万円

(2) 研究内容に関係のある企業等から、生計を共にする配偶者及び一親等の親族が、一つの企業等から過去1年間に100万円相当以上の経済的利益(5%以上の株式を含む)を受けたことがある場合は、該当する研究者名、続柄、企業等名、受入額を記入してください。

該当無

2 研究組織 (講座等)

(1) 研究内容に関係のある企業等から、講座等の研究組織が、一つの企業等から過去1年間に200万円相当以上の経済的利益(奨学寄付金、受託研究費、共同研究費等)を受け入れたことがある場合は、企業等名、受入の種類、受入額を記入してください。

(学際的痛みセンター) 日本臓器製薬株式会社 共同研究費 ¥2,000,000 (見込)

(2) 研究内容に関係のある企業等から、講座等の研究組織が無償で役務の提供を受けたり、又は200万円相当以上の不動産、機器、物品等の提供や貸付を受けたことがある場合は、企業等名、受入の種類を記入してください。

該当無

神戸学院大学

学長 佐藤 雅美 様

厚生労働科学研究等に係る利益相反自己申告書(様式2-1)

所 属: 総合リハビリテーション学部

役職・氏名: 松原 貴子



<注意事項>

- ・「厚生労働科学研究費」、「日本医療研究開発機構(AMED)研究費」に係る研究活動等の実施を申請等する場合には必ず本自己申告書による申告が必要です。
- ・本申告の内容に関して新たな経済的な利益関係が生じた場合は、その都度申告が必要です。

Q1. 申請等する「厚生労働科学研究費」、「日本医療研究開発機構(AMED)研究費」に係る研究活動等の制度名、課題名等を以下に記載し、Q2へ進んでください。

制度名	令和2年度厚生労働科学研究費補助金(慢性の痛み政策研究事業)	
課題名	慢性疼痛患者に対する簡便かつ多面的な疼痛感作評価法の開発(19FG1002)	
実施期間	2020年4月1日～2021年3月31日(3年計画の2年目)	※西暦で記載してください。
参加形態	代表者 / <u>分担者</u>	※該当する項目に○を付してください。

Q2. 申請等する課題に少なからぬ利害関係を有する企業等との間で、昨年度から今年度の間(下記)の経済的な利益関係(生計を一にする配偶者及び一親等の者を含む)に該当する項目はありますか?

1. 株式等を保有(未公開株及び新株予約権は1株以上、公開株は発行済株式の5%以上)したことがある又はする予定 (※持分会社である場合、会社の持分の5%以上を出資保有したことがある又はする予定)
2. 役員・顧問等に就任したことがある又はする予定
3. 1企業等あたり年間100万円を超える収入(自らの所得として計上される兼業報酬、謝金、寄付金、知的財産権のロイヤリティ等の総額)を得たことがある又は得る予定
4. 個人的に無償で100万円相当以上の役務又は機材等の提供を受けたことがある又は受ける予定
5. 貸付・融資・保証等(銀行等金融機関を除く)を受けたことがある又は受ける予定
6. 1企業等あたり年間200万円を超える共同研究費又は受託研究費を受領したことがある又は受領する予定
7. 1企業等あたり年間200万円を超える奨学寄付金を受領したことがある又は受領する予定

はい ⇒ 「様式2-1」に加え、該当する企業等ごとに作成した「様式2-2」を利益相反マネジメント委員会事務局へ提出して下さい。

いいえ ⇒ 「様式2-1」を利益相反マネジメント委員会事務局へ提出して下さい。

※該当する項目があれば、該当する項目の番号に○をつけ、「はい」又は「いいえ」をチェック(☑)してください。

【事務部使用欄】

受理日 2020年 4月 1日	担当者 <u>田野</u>	様式2-2 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------------	---------------	--

2020年4月10日

研究課題名：慢性疼痛患者に対する簡便かつ多面的な疼痛感作評価法の開発（19FG1002）

研究代表者：（所属）国立大学法人高知大学医学部

（職名）教授

（氏名）池内昌彦

国立大学法人滋賀医科大学利益相反確認報告書（厚生労働科学研究費）

国立大学法人 滋賀医科大学
医学研究監理室長 小笠原敦

厚生労働省厚生労働科学研究費利益相反管理基準に基づき、本申告の内容を確認しました。

■ 特段の処置は必要ありません。

□ 下記の処置が必要です。必要な処置を実施するための管理計画書を作成してください。

必要な処置	
<input type="checkbox"/> 1.	基準1に従い研究計画書に、利益相反について、正確に記載し、説明文書に明示し、研究成果公表時に開示する。
<input type="checkbox"/> 2.	基準1に従い研究計画書に、利益相反について、正確に記載し、説明文書に明示し、研究成果公表時に開示する。 基準5に該当するため、データ管理、モニタリング及び統計・解析等に関与する業務に従事せず、かつ研究期間中に監査を受け、研究の公正性に努める（研究責任者のみ）
<input type="checkbox"/> 3.	基準1に従い研究計画書に、利益相反について、正確に記載し、説明文書に明示し、研究成果公表時に開示する。 配偶者又は同居の一親等の親族が基準6に該当するため、データ管理、モニタリング及び統計・解析に関与する業務に従事しない（研究責任者のみ）
<input type="checkbox"/> 4.	基準1に従い研究計画書に、利益相反について、正確に記載し、説明文書に明示し、研究成果公表時に開示する。 基準7に該当するため、データ管理、モニタリング及び統計・解析に関与する業務に従事しない（研究分担者のみ）
<input type="checkbox"/> 5.	（自由記述）

利益相反確認済研究者リスト

<研究代表者>

国立大学法人高知大学医学部

教授

池内昌彦

<研究分担者>

国立大学法人滋賀医科大学医学部附属病院

講師（病院教授）

福井聖

上記研究分担者の利益相反状態を、厚生労働省厚生労働科学研究費利益相反管理基準に基づき確認しました。

問題ありません。

以上